

平成20年度 トキ野生復帰関連事業
(県が実施主体の事業/実績)

平成21年3月31日

佐渡地域企画調整部会
(新潟県トキ野生復帰推進本部佐渡作業部会)

平成20年度 トキ野生復帰関連事業実績一覧表 (県が実施主体の事業)

(様式2)

事業区分	餌場確保	餌場確保	餌場確保														
事業名	国府川等統合河川環境整備事業(自然再生)	県営生物多様性対応基盤整備促進パイロット事業	人・トキのやすらぎの島推進事業														
実施地域	国府川他3河川	正明寺地域															
事業期間	平成17年度～平成24年度	平成20年度～平成24年度	平成18年度～平成22年度														
事業費(H20)	141,000千円 (県2/3、国1/3)	7,000千円 (国55%、県22.5%、市22.5%)	9,851千円 (県4,862、国4,989)														
事業目的	トキの野生復帰に向けた地域の取り組みと一体となって河川環境の整備を行い、かつての生態系の多様性に富む河川環境の保全、再生、創出を目的とする。 (例) トキの生息環境に果たす河川の役割 ①餌場の確保・河川下流部での湿地、浅場の創出など ②餌生物等の生息環境の確保・河岸、河床の再自然化など ③餌生物等の移動環境の確保・河川の縦断方向の連続性の確保など	多様な生物の生息には、水田を利用したビオトープや冬期湛水による常水田化、そして無農薬栽培、有機栽培などの環境保全型農業の導入等、農業の果たす役割は大きい。本地区では、トキを保全指標種、トキの餌生物であるドジョウ等を保全対象種として、農家の理解や地域住民の合意を得つつ生物多様性の観点を取り入れた基盤整備を推進する。	①トキ野生復帰に向け、自然環境を再生するとともに、トキと地域が共生する自然豊かな循環型社会の構築。 ②トキをシンボルとした地域の活性化。 ※自然環境整備交付金事業(国指定鳥獣保護区内に限る)														
事業内容	佐渡島内の国府川、大野川、久知川、天王川を対象に、H17に取りまとめられた自然再生計画書で盛り込まれた箇所を中心に段階的に実施 1. H20の内容、規模 【河川整備工事】・・・以下の整備内容について実施 <table border="1" data-bbox="219 879 797 1147"> <thead> <tr> <th>整備内容</th> <th>実施河川</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○湿地、浅場の創出 →ダム湖浅場部の伐木</td> <td>久知川 A=3,500㎡</td> </tr> <tr> <td>○河岸・河床の再自然化 →捨石により水際を再自然化</td> <td>国府川 L=300m</td> </tr> <tr> <td>○河川縦断方向の連続性の確保 →魚道工を設置</td> <td>久知川 n=4箇所</td> </tr> </tbody> </table> 【モニタリング】 整備効果を把握し、順応的・段階的に整備を進めていくため魚類、水中生物等の生息状況や生息環境など既整備箇所を中心に河川環境のモニタリングを実施 <table border="1" data-bbox="219 1267 797 1386"> <thead> <tr> <th>対象河川</th> <th>調査内容</th> <th>調査時期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国府川、久知川、天王川</td> <td>生息状況、生息環境、植生分布</td> <td>6月、7～8月、1月(年3回)</td> </tr> </tbody> </table> 2 事業主体 新潟県	整備内容	実施河川	○湿地、浅場の創出 →ダム湖浅場部の伐木	久知川 A=3,500㎡	○河岸・河床の再自然化 →捨石により水際を再自然化	国府川 L=300m	○河川縦断方向の連続性の確保 →魚道工を設置	久知川 n=4箇所	対象河川	調査内容	調査時期	国府川、久知川、天王川	生息状況、生息環境、植生分布	6月、7～8月、1月(年3回)	H20年度事業内容 1. 事業費 7,000千円 2. 実施内容 生物多様性対応整備計画策定 1式 ・事業実施区域の概要について ・農業生産基盤整備について ・生物多様性保全方針 ・保全管理活動について ・調査モニタリングについて ・整備に要する費用及び負担方法 調査モニタリング 1式 ・全体企画案の策定 ・水田及び水路の生息環境調査 ・冬期間の水田及び水路の生き物調査 事業主体：新潟県	1 トキの郷づくり支援事業 3,263千円 (1) 地域(農家)とボランティア等が協働する環境整備の促進支援 ①事業主体 佐渡市 1,813千円 ②事業内容 ・生息環境整備、維持管理検討会の開催、協働の支援 (2) 地域(農家)との協働による環境の整備・維持管理プランの策定支援 ①事業主体 佐渡市 362千円 ②事業内容 ・環境整備地域計画検討会の開催等 ・地域の自主的な学習・研修活動への支援 (3) 「トキファンクラブ」への支援 ①事業主体 佐渡市 1,088千円 ②事業内容 トキファンクラブの運営補助 2 トキのビオトープ整備事業 6,054千円 全体：5地区5ha 事業主体：県(トキ保護センター) ②月布施地区 0.94ha整備 ②生椿地区 0.40ha整備 3 人・トキのやすらぎの島推進事業 534千円 ①事業主体 県 ②事業内容 ・ビオトープモニタリング調査(餌生物生息調査) ・トキの郷づくり支援(検討会等への参画)
整備内容	実施河川																
○湿地、浅場の創出 →ダム湖浅場部の伐木	久知川 A=3,500㎡																
○河岸・河床の再自然化 →捨石により水際を再自然化	国府川 L=300m																
○河川縦断方向の連続性の確保 →魚道工を設置	久知川 n=4箇所																
対象河川	調査内容	調査時期															
国府川、久知川、天王川	生息状況、生息環境、植生分布	6月、7～8月、1月(年3回)															
担当部課	県佐渡地域振興局(地域整備部)	県佐渡地域振興局(農林水産振興部(農地))	県佐渡トキ保護センター														

平成20年度 トキ野生復帰関連事業実績一覧表 (県が実施主体の事業)

(様式2)

事業区分	ねぐら・営巣木確保	普及啓発	普及啓発
事業名	営巣木等保全整備事業	トキ野生復帰推進事業	トキをプロデュース・野生復帰推進事業
実施地域	両津小佐渡・新穂・畑野・赤泊地域	佐渡地域	県内、首都圏
事業期間	平成15年度～平成22年度	平成17年度～	平成19年度～平成21年度
事業費(H20) (負担割合等)	34,901千円 (国10/10)	920千円 (県10/10)	2,356千円 (県1,678 その他678)
事業目的	トキのねぐらや営巣木に利用されると考えられるマツ等を、松くい虫被害等から守るために防除を実施する。	平成20年秋に予定されるトキの試験放鳥に向けて、市民の機運醸成と不足が見込まれるえさ量確保に向けた環境整備を推進し、放鳥及び野生定着の円滑化を図る。	自然環境の豊かさを表すメルクマーク(指標)として全国的にアピール度の高いトキの野生復帰の取組の情報発信を行い、全国での新潟県の環境イメージを高め、支援者の拡大と自然環境に対する県民満足度を向上させる。
事業内容	<p>1 内容及び規模</p> <p>①伐倒駆除：93.58m³ ②樹幹注入：1,087.88m³ ③不用木除去：394.91m³ ④歩道作設：5,346m ⑤ナラ枯れ対策：203.54m³ ⑥その他調査等</p> <p>2 事業期間 平成20年4月から平成21年3月</p> <p>3 事業主体 佐渡地域振興局農林水産振興部林業振興課</p>	<p>1 トキ野生復帰に向けた普及啓発</p> <p>①トキ野生復帰現地見学会の開催(対象者：市民) ②啓発イベントの実施 ③各種イベントへの参加</p> <p>2 佐渡産ドジョウの生産拡大</p> <p>①ドジョウ養殖研修会(人工ふ化技術習得)の開催 人工ふ化研修会 2回 第1回(6/16、20、24) 43名参加 第2回(7/7、11、15) 18名参加 ドジョウ養殖研修会 2回 第1回(6/13) 27名参加 第2回(1/27) 39名参加</p> <p>②佐渡ドジョウ養殖研究会の発足(発足時会員14名)</p> <p>3 トキに優しい環境保全型農業の啓発・普及推進</p> <p>①トキに優しい環境保全型農業普及推進研修会</p>	<p>1 野生復帰イメージプロデュース 1,000千円</p> <p>①首都圏でのPRイベント 事業主体：県 トキの野生復帰に取り組む「佐渡、新潟」の首都圏での情報発信による新潟環境ブランドの認知度の向上を図る。 ・ネスパスでの佐渡物産展併設で野生復帰PRイベントを実施(パネル展示、講演会、映写会等の実施)</p> <p>2 野生復帰支援プロデュース 事業主体：県 1,356千円</p> <p>①企業・団体向けトキ啓発セミナーの開催 企業・団体向けトキ啓発セミナーを通じて、トキ保護活動に対するCSR(企業の社会的責任)の誘導、島外ボランティア希望者の受け入れ拡大を図る。</p> <p>・トキ野生復帰取組状況等の説明、現地視察(環境保全型水田、ビオトープ、トキ営巣地、野生順化施設等) ・企業と地元とのコーディネート</p>
担当部課	県佐渡地域振興局(農林水産振興部(林業))	県佐渡地域振興局 / 県佐渡トキ保護センター	県佐渡トキ保護センター

平成20年度 トキ野生復帰関連事業実績一覧表 (県が実施主体の事業)

(様式2)

事業区分	普及啓発	その他	その他
事業名	朱鷺野生復帰元年記念事業	トキ保護増殖事業	トキの島づくり事業
実施地域	佐渡地域	新穂長畝、新穂正明寺 地域	佐渡地域
事業期間	平成20年度	昭和34年度～	平成13年度～平成20年度
事業費(H20) (負担割合等)	5,000千円 (県5,000)	70,474千円 (国10/10)	332千円 (県10/10)
事業目的	トキ放鳥に因み、放鳥式典や記念イベントを開催し佐渡市民、県民、全国民に情報発信し、理解の醸成と支援拡大を図る。	トキの飼育管理、増殖、野生復帰に向けた順化訓練を行う。	トキの野生復帰に向け、佐渡市民の広範な理解を得るとともに、野生復帰を実現するための諸課題の具体的解決策を検討する。
事業内容	<p>1 朱鷺野生復帰元年記念事業 3,000千円(負担金) 野生復帰元年記念放鳥式の開催 事業主体：国、県、佐渡市からなる実行委員会 9/25 トキ放鳥記念式典開催 式典：野生復帰ステーション駐車場 放鳥：新穂正明寺地先水田 10羽放鳥</p> <p>2 野生復帰元年記念イベント事業 2,000千円(補助金) 8/10 トキ野生復帰元年記念イベントの開催 開催会場：アミューズメント佐渡 事業主体：県、佐渡市(共催) イベント内容：取組、活動のパネル紹介 新井満講演会 コーラス、ダンス発表会 市民宣言 コンセプト：「トキ・新潟環境ブランド情報発信」 「環境の島・エコアイランド佐渡」 「市民総ぐるみで祝うトキの放鳥」</p>	<p>1 トキの飼育管理及び増殖事業 ⑰末80羽 ⑱末94羽 ⑲末95羽 ⑳末119羽 ㉑繁殖結果29羽</p> <p>2 トキの放鳥に向けた順化訓練の実施 順化ケージで15羽の訓練を実施 順化ケージで2羽ふ化 9/25 10羽試験放鳥</p> <p>3 佐渡トキ保護センター(野生復帰ステーション含む)の運営</p>	<p>1 野生復帰環境調査 餌対策費 事業主体：県 332千円 ①餌ドジョウ養殖技術の確立 (県内水面水産試験場に執行委任) ・ドジョウ養殖技術の研究 1/27 ドジョウ増養殖振興会議開催 ・島内ドジョウ養殖者への稚魚の供給 ②ドジョウ稚魚46,443尾供給</p>
担当部課	県佐渡トキ保護センター	県佐渡トキ保護センター	県佐渡トキ保護センター